

～地域が学生を育て、学生が地域を元気にする～

荒町・連坊・東北学院大学通信

3

令和5年4月の東北学院大学五橋キャンパス開学に向けて、荒町・連坊地域と東北学院大学による連携・協働の取り組み等について、地域のみなさまにお知らせする地域だより「荒町・連坊・東北学院大学通信」の第3号をお届けします。今回は、11月23日（水・祝）に開催された「第1回わが街マルシェ」の様子や、学生たちが制作した荒町・連坊地区を紹介する地域動画の上映会などについてお知らせします。



当日は、新聞・TVなどメディアも多数、取材に来ていました。



応援団によるパフォーマンス



受付でボランティアする学生



東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館で、11月23日（水・祝）、第1回「わが街マルシェ」が開催されました。来年4月の五橋キャンパス開学を前に、荒町商店街・連坊商興会・むにやむにや通り商店街と大学とが連携し、地域の魅力を発信。当日は、3商店街等から18店舗が出店し、学生団体やシャンソン歌手貝山幸子さんらによるステージイベントも行われました。学生ボランティアは運営でも全面的に協力。連坊商興会の黒田会長は「屋外だと人が立ち止まらないので（雨天で）室内の開催になり、かえってよかった。地域の人や学生等へのアピールを増やして、来年以上も続けていければ」と、今後に期待を寄せてくれました。

大学主催のマルシェで地域の魅力をアピール！

荒町・連坊の地域紹介動画上映会を開催

若林区役所では、8月3日（水）から9月15日（木）まで、東北学院大学地域連携課と協働で「スマホで完結！地域の動画制作講座」を開催、1年生から4年生までの計13名が参加しました。講座では、令和5年4月に開学する東北学院大学五橋キャンパスに集う学生や教職員をはじめとする方々に荒町・連坊地域の魅力を伝えようと、動画制作のプロの指導の下、5つのエリアごとに動画を制作しました。

完成した動画について、地域の皆さんにもご覧いただけるよう、荒町市民センター・児童館フェスティバル（10月1日（土））および若林区民ふるさとまつり（10月16日（日））の会場で上映会を開催しました。

↓荒町市民センターでの上映会



当日は動画を制作した学生たちも参加し、制作動画を通じて伝えたいことや、制作にあたり工夫した点などについて語ってくれました。

上映会の参加者アンケートからは、「制作者の情熱が伝わってきました。夏休みの貴重な時間をありがとうございました」「昔住んでいた町の変り様を楽しく見ることができました」「荒町・連坊が第2のふるさとになりますように」「ぜひ、今後も荒町・連坊を盛り立ててく



10/16開催の若林区役所での上映会の様子と参加してくれた4人の学生。当日はテレビ局の取材もありました。



学生たちが制作した10本の動画は、仙台市公式YouTubeチャンネル「せんだいTube」でも御覧いただけます。

↑のQRコードからどうぞ

ださい。みんなでいっしょにがんばりましょう」など、熱いエールをいただきました。ご参加いただいたみなさま、上映会にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

東北学院大学齋藤ゼミ で荒町・連坊地区を 調査!

東 北学院大学経営学部齋藤ゼミでは、「商いと暮らしの記録」と題し、地域に長く暮らししてきた方々、商売や事業をはじめ様々なお仕事にとりくんでこられた方々の体験談に耳を傾け、聞き取りする調査を行っています。

この取り組みは、市民の記憶遺産として、その生き様、考え方、生の声を五十年後、百年後に残そうと平成10年から始まり、これまでも市内外で調査が行われ、調査内容は報告書として発行されています。学生たちは3年生、4年生の2年間、ヒアリング調査を行い、歴史を活用した現在のまちの魅力を掘り起こすことに貢献しています。

若林区内でも、令和元年度には荒町地区を調査しており、令和4年度は連坊地区での聞き取り調査が既に行われました。現在、調査結果の取りまとめが行われており、今後、報告書を発行、地域での報告会も予定されているとのこと。調査結果が待ち遠しいですね。



ゼミの4年生たちが、グループ調査について発表してくれました。

Date fm X 東北学院大学 「五橋キャンパス周辺調査隊」 が荒町へ!

東 北学院大学とDate fmによる共同制作ラジオ番組「東北学院大学のこの枠もちっちゃいます!」の第5回が12月11日(日)に放送されました。

番組内企画のひとつ、五橋キャンパスの周辺地域の魅力を紹介する「五橋キャンパス周辺調査隊」では、令和4年6月に荒町でオープンした甘酒カフェ「森民茶房」を調査、カフェを開業した経緯やおすすめのメニュー、これからの荒町について、森社長にインタビューしていました。

学生プロデューサーで東北学院大学放送会の望月薫さん(4年生)は、「4年間を五橋キャンパスで過ごす上で、仙台出身ではない学生たちにも、ぜひ荒町や連坊のファンになってもらいたいという思いで発信しています」と熱く語ってくれました。

次回2月の放送では、五橋キャンパスを紹介してくれるそうです。次回もどうぞお楽しみに!



森社長にインタビューする学生たち



店内を取材する学生たち

今回の荒町「すまいる食堂」も学生たちが大活躍!

11月19日(土)に開催された荒町「すまいる食堂」では、前回(9月)に続いて、東北学院大学のボランティアサークル「セツルメント会」から6名の学生が参加してくれました。今回のメニューは、ちゃんこ鍋と炊き込みご飯。17時のオープン直後はたくさんの方々が来場し、一時大忙しの場面もありましたが、学生のみなさんはレギュラーメンバーのみなさんと協力して、会場設営や調理、配膳から後片付けまで、今回も大活躍してくれていました。

セツルメント会は、11月からメンバーが代替わり。新しく委員長になった

大場駿さん(2年生)は、「参加してとてもよかった。自分たちも食事をつくる上で食のありがたみを知ることができるし、『美味しかった。ありがとう』という言葉がすごくうれしい。これからも参加して役に立ちたい」と感想を伝えてくれました。

メンバーのみなさんからも「次回もぜひ、お手伝いをお願いしたい」と学生たちに向けて熱いラブコールが届けられ、とてもあたたかい雰囲気でも今回も終了しました。



ちゃんこ鍋を調理するみなさん



ごちそうさまでした!



終了時のご挨拶